

高知CST協会 会報 (No.2)

2015年1月15日

高知CSTの活動NOW

福井でのCSTシンポジウムが開催されました。
シンポジウムに参加した東部支部の小松さんがそのときの様子を報告してくれました。

第3回福井CSTシンポジウム（2014年11月29日、福井大学）に参加して

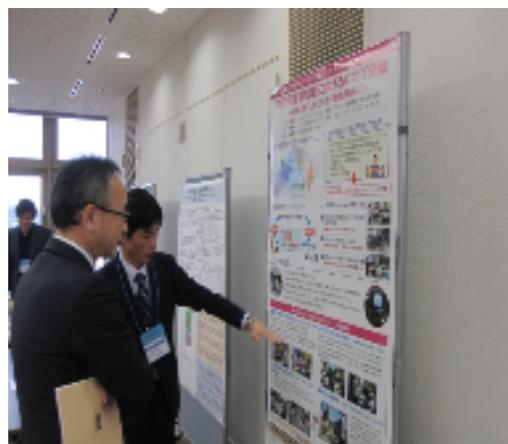
東部教育事務所 小松武志

今回、高知県東部地域のCST活動について、福井シンポジウムでポスター発表（『高知県東部地域におけるCST活動—地域に根ざしたCST活動を目指して—』、小松 武志・明崎 友理子・北村 雅夫・高橋 和久・山中 真実）をさせていただく機会を得た。CSTシンポジウムでのポスター発表は今回で3度目であり、今回は、発表を聴きに来てくれた方と意見交流をたくさんしようという姿勢で臨んだ。

ポスターセッションの場では、高知県東部でのCSTの取り組みを柱として、他県の先生方と意見交換をもてたのは有意義なものであった。特に、「小中連携のつながりをどのようにつくっていくか」という点においては、他県のCST教員も課題と捉えて向き合っていることを実感した。ポスター発表の副題でもある「地域に根ざしたCST活動を目指して」に関して、多くの共感をいただけたことは、今後の励みとして発表連名者の先生方にも伝えたい。

また、福井県をはじめとするCSTの先生方のポスター発表には、教材開発をテーマとするものが多々あり、ポスターを眺めていくだけでも大いに刺激を受けたと同時に、若い先生方や大学院生の率先的な取組に感銘も受けた。

今回のシンポジウムを通してできた他県の先生方との新たな出会いを大事にするとともに、自身のCST活動に活かしていきたい。



シリーズ CST活動を通して

●CSTとして活動して、こんなことを感じています

■CST活動を支える立場になって

土佐市教育委員会 吉本真里

CST2年目の今年、土佐市教育委員会へ異動になりました。土佐市の教育という大きな世界に戸惑いましたが、「科学的思考力の向上」に関する市の施策もあり、理科教育にこれまでとは違った関わりができるようになりました。しかし、方向性は示しますが、具体は各学校で行うこととなります。そうすると、学校現場は多忙で、委員会が新しいことを取り入れることに抵抗を感じる人もいるでしょう。また、成果（費用対効果）も求められます。そんな中、学校の負担が無いようにCSTが講師となる「親子科学研究講座」を開催しました。協力してくれる方がいるだろうかと不安もありましたが、CST協会だよりのおかげで依頼がスムーズにでき、高知市立鴨田小学校の楠瀬先生と小島先生が協力してくれることになりました。幸い参加者も予想以上で、学校からも資料を送ってほしいなど問い合わせがありました。来年度はCSTに加えて市内の先生方を巻き込んでいけたらと考えています。CST支援者として、先生方のニーズに応じた研修等を企画し、多くの先生方とCSTをつなぐ場を設定していきたいと思えます。

CST活動に参加した学生さんの感想です

高知大学教育学部学校教育教員養成課程4回生

石原 将司

私は今まで鴨田小、高須小、伊野小、窪川小、附属小などたくさんの授業研究に参加させていただきました。貴重な機会をありがとうございます。私は現場での授業経験がまだないので分からないことがたくさんありましたが、参加するにつれて教材への解釈が深まったり、子どもとの接し方について考えたりすることができました。そんな中、私は特に“授業は批判的に見るべき”だと感じました。批判的に見ることで授業した先生のお力になるほか、述べたからには自分が述べたことはできなければならないという決意表明にもなると感じました。授業経験のない私がベテランの先生方に意見するというのは正直きついという思いもありました。しかし、どの先生方も真摯に受け止め、意見してくださることで自分をもっと勉強しなければならないという気持ちが高まりました。来年からは高知県の小学校教員として現場へ出ることになるので、学んだことを生かしていきます。また、卒業後も積極的に授業研究に参加し、学び続けて自分を高めていきたいと思えます。

高知大学教育学部学校教育教員養成課程4回生

野村 将登

私は授業をつくる側ではなく、学生としてしばしば授業の参観の機会を頂く身なのですが、それでもCSTの活動に参加してもう一年になろうとしています。まず初めに感じたことは意識の高さでした。私は時に小学校や中学校へ赴き、理科の授業を参観することがあるのですが、CSTでの授業はやはり、それらとは少し異質で非常に緻密さに長けているように感じました。メンバーうちでの一体感の様な「個」ではないものが感じられ、よりよくしようとする緊張感が伝わってくるのです。

自分はまだ教員ではない学生という身分だからこそ、小学生の目線になったり教師の気持ちにもなったりと授業を俯瞰することができました。そうして授業を見ていくなかでCSTの授業展開に不自然な軋轢はほとんどなく、教師の理想の組み立ての中にも子どもたちの意見を生かすことも頭に入れ、流れを大切にしているのだなと感じることができました。

授業は見られて成長するといいますが私たち学生が現場の授業を見られる経験は貴重であり、いい授業を目標に自分たちが真似るところから授業づくりは始まっていくので、そのような意味でCSTでの授業を参観できたことをうれしく思います。非常に大きな学びとなりました。

次の英文は、フィリピンからの留学生のラリーさんの感想です。和訳に挑戦してみてください。

■Lesson Study in CST (Core Science Teacher) Association

Larry A. Carolasan

Professionally rooted from a different culture, the experience with CST on its eventual conduct of lesson study is an ecstatic involvement since it equipped me with so many brilliant ideas and the approach to help each one in the association is predominantly distinguished. The various lesson study of CST exemplify a range of professional development that is specified on improving methodologies and approaches in the conduct of classes especially in science. Personally this particular association is supportive to every teacher that aims to better their expertise in teaching. In the Philippines I have not encountered the same association. Teachers seldom reach out for comments and suggestions to improve one's methods in an effective teaching – learning environment. This give me an impression that in order to build a great foundation of learning, there should be an association that limits no boundaries in supporting educators to become proficient in their fields. CST colleagues work not only on the methods but on other aspect which may include behavioral conduct, utilization of visual aids and other supplementary techniques that is effective in teaching.

Finally as observed with the various lessons I attended, it has always been pleasant for the CST members to be engaged seriously with their constructive comments and recommendations making a room for better application. Indeed, the CST association has been a backbone for many competent teachers in the field that improved their ways and means through the feedback of the members.

高知大学教育学部学校教育教員養成課程 4 回生

西田圭余

これまで CST の研究授業に参加させていただきありがとうございました。私が CST の研究授業に参加させていただく中で、理科の内容についてと、授業観察をする姿勢についての 2 つの点で勉強させていただきました。

まず、授業前の指導案の見方について、新たな見方を学ぶことができました。私は、授業観察の前に指導案を見る時間は、いつも授業の流れや目標の確認のための時間にしていました。しかし、CST の先生方は指導案を見る時間を、どこがこの授業のポイントになるところだろうか、この場面に先生はどう持って行くのだろうか、など授業を見る視点をあらかじめ絞るための時間にもしておられました。私も指導案を見るときは、より能動的に授業を観察することができるように視点を絞るようにしていこうと思いました。

理科の内容については、私が実習で授業したところと同じ内容の授業も観察することができ、新たな手立てを学ぶことができました。例えば、「地層のでき方」のところでは、子どもたちにどうやって「水」というキーワードを出させるのかについて主免実習では悩みました。しかし、研究授業では、各班で考えた実験のあとに、地層が出来た班に共通するものは何か考えさせたり、今と昔（海が広がっている）の地図を比べてみたりすることで、自然と子どもたちから「水」という言葉を出させやすくすることができていました。このように様々な教材や手立てを学ぶことができました。

CST の先生方の研究授業を見ていて、私も CST の先生方のように授業力を磨き続ける先生になろうと思いました。ありがとうございました。

高知大学教育学部学校教育教員養成課程 3 回生

中釜 理恵

CST の研究授業では、理科の専門的な内容の指導や工夫などを実際に観察することができ、とてもよい経験をさせてもらっています。事後研は現職の先生と意見しあうことができ、私にとって非常に貴重な経験であり、学ぶことの多い場となっています。現職の先生や大学院生の方と意見を交換するのはとても緊張しますが、どんな意見でも対応してくれるので、いろいろな視点から観察して意見しようという気持ちになります。例えば私はまだ理科の視点から観察することができず、理科に関係のない素朴な質問ばかりしていますが、真剣に対応してくれます。

また、理科をどのように指導するといったのかを真剣に考えることで、理科のおもしろさをより実感す

るようになりました。これから理科についてしっかり勉強していきたいと思います

ラリーさんの英文を高知大学中城先生が訳してくれました。

■CST 研究授業に参加して

Larry A. Carolasan

(文責：中城)

それぞれがちがう職場やちがう立場の先生方が集う CST の研究授業に、私も偶然参加させていただきました。しかし、これは私にとって多くの有意義なアイデアを授けてくれる、とても夢中になれるものとなりました。この組織の大きな特徴は、お互いが助け合いながら活動するという点です。そして、活動の中心である研究授業は教師の専門性を高める限界はない（可能性が大いにある）ということを実証しているように思います。それは、この活動の中では、いつも理科授業における手法や目的への迫り方、その向上のためにどうすべきかなどについて、具体的に述べられることに表れています。さらに、「指導技術を高めようとするすべての教員のために運営されている」ということがこの組織の大きな特徴であることが実感できました。

フィリピンにおいては、残念ながらこのような組織に出会ったことがありません。フィリピンでの教師は、学習指導に効果を発揮するような手法について、そしてこれらを向上させようとするために、意見を交換したり示唆を与え合ったりすることをしません。ですから、この CST での経験は、私に強い印象を与えました。それは、教師としての学習指導のための重要な“基盤”を作らなければならないということです。また、われわれが教育の世界で熟達していくために、教師の支援において限界を作らないような組織であるべきです。その意味で、CST の先生方の活動は、方法論に限ることなくいろいろな見方や要素まで及んでいます。例えば、子どもの振る舞いや行動への注目、視覚的な支援、そのほか効果的な指導のための補充的な手法などの追究です。

最後に、私が参加した多くの授業観察から、CST のみなさんの真剣な建設的意見、よりよい指導になるような指摘などにひきつけられ、好印象をもっています。CST の組織は、現場での豊かな経験や力量をもった先生方が集まっています。そして、それらの力は、先生たちの指導法の改善につながっているだけでなく、お互いのフィードバックにまで及んでいると感じます。

■入会のおすすめ■

高知CST協会は、県内のCSTのネットワークを構築し、会員相互の情報交流を盛んにし、研鑽と活動の充実により高知県理科教育の推進を目指しています。

【会費】年額 1000円

【手続】協会事務局に直接入会お申し込みください。

====編集後記====

新年あけましておめでとうございます。

新年早々、会報第2号を発行できました。順調です。寄稿くださった皆様に感謝申し上げます。

さて、CST 事業が第2期に入った県も増えてきました。他県とも連携・交流を図りながら CST の活動をますます充実・活発にして高知県理科教育推進に寄与する取り組みを持続したいものです。1月24日（土）には、2014年度 CST 受講者懇談会・活動報告会が開催されます。その後、高知 CST 協会の交流会を予定しています。高知CST協会の皆さんの報告会・交流会への多数の参加をお願いします。当日は、高知県教育委員会 井上指導主事から昨年8月にいただいていた課題への取り組みについての意見交換も行いたいと思います。そちらのご用意もよろしくをお願いします。

皆様、新年ますますご活躍ください。

発行 高知 CST 協会事務局 『高知 CST 協会だより』編集局
〒780-8050 高知市鴨部1155 高知市鴨田小学校内
Tel (088)844-1304